

- 問1 日本の歴史における仏教の展開について、平安時代初期に広まった新しい仏教の動向として正しいものはどれですか。 （2016年 三重県公立入試 類似）
1. 浄土真宗の門徒が団結し、各地で一向一揆と呼ばれる激しい抵抗を行った。
 2. 日蓮が法華宗を説き、法華經の題目を聞くことで救われると教えた。
 3. 聖武天皇が国ごとに国分寺を建て、東大寺には巨大な大仏を造立した。
 4. 空海が和歌山県の高野山に金剛峯寺を建立し、真言宗の教えを広めた。
- 問2 岩手県の平泉を拠点とし、平安時代末期に大きな勢力を誇った奥州藤原氏によって建立された、豪華な装飾で知られる阿弥陀堂を何といいますか。 （2017年 奈良県公立入試 類似）
1. 東大寺南大門
 2. 蓮華王院本堂 （三十三間堂）
 3. 中尊寺金色堂
 4. 平等院鳳凰堂
- 問3 桓武天皇が実施した「平安京への遷都」に関連して、当時の政治的な背景や目的を説明した文として最も適切なものはどれですか。 （2018年 秋田県公立入試 類似）
1. 武士の台頭を抑えるため、軍事力を強化して東北地方の経営を断念した。
 2. 肥大化した奈良の寺院勢力から政治を切り離し、律令政治を再建しようとした。
 3. 白村江の戦いでの敗北を受け、外敵からの防御を固めるために内陸部へ都を移した。
 4. 大仏造立によって国を治めるため、東大寺を中心とした仏教政治を推進した。
- 問4 平安時代末期、現在の岩手県にある平泉を拠点として東北地方に独自の勢力を築いた一族が、その豊富な経済力を示すために建立した代表的な建造物はどれか。 （2026年 和歌山県公立入試 類似）
1. 平等院鳳凰堂
 2. 鹿苑寺金閣
 3. 中尊寺金色堂
 4. 東大寺大仏殿
- 問5 894年に菅原道真が遣唐使の停止を提案した主な理由と、その後の日本文化に与えた影響について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。 （2015年 富山県公立入試 類似）
1. 最澄や空海が伝えた新しい仏教が国内で十分に普及したため、これにより中国との貿易が完全に禁止された。
 2. 唐の国力が衰えて国内が乱れたため派遣の必要性が薄れ、その後、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達した。
 3. 小野妹子が隋に対して対等な外交を求めた伝統を引き継ぎ、唐の支配下に入ることを拒んだため、武家文化が成立した。
 4. 白村江の戦いで敗北したことでより唐との関係が悪化したため、これによって仏教文化の導入が完全に途絶えた。
- 問6 平安時代の文化の変遷をたどると、国風文化の時代には日本の風土や生活に合った洗練された文化が生まれたことがわかります。この時期における「かな文字」の普及がもたらした歴史的背景や影響について述べた文として、最も適切なものはどれか。 （2016年 京都府公立入試 類似）
1. 貴族の間で中国の文化をそのまま模倣することが流行し、かな文字を使って漢詩を詠むことが最も重要な教養とされた。
 2. 遣唐使の廃止後、日本人の心情を細やかに表現することが可能になり、女性による物語や和歌などの文学が発展した。
 3. 大陸との交流が途絶えたため、仏教の影響が弱まり、寺院で使われていた漢字に代わってかな文字が公文書の主流となった。
 4. 武士が政治の実権を握ったことで、力強い文化が生まれ、かな文字を用いて戦いの記録を記す軍記物語が流行した。
- 問7 国風文化の特色を示す具体的な事例として、当時の文学や美術の様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 （2015年 富山県公立入試 類似）
1. 禅宗の考え方が広まり、墨一色で自然を描く水墨画や、石と砂で自然を表現する庭園が作られた。
 2. 武士の精神を反映し、力強い彫刻や運慶・快慶による金剛力士像が作られた。
 3. 聖武天皇の時代に、仏教によって国家を守るために東大寺の大仏などが造られた。
 4. 漢字を簡略化した「かな文字」が普及し、女性による日記や物語などの文学作品が多く生まれた。
- 問8 平安時代の仏教に関する学習のまとめにおいて、最澄や空海が仏教を学ぶために渡った当時の中国の王朝名と、のちに広まった「死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰」において阿弥陀仏に唱える修行の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2022年 茨城県公立入試 類似）
1. 王朝名：唐、修行の名称：念仏
 2. 王朝名：唐、修行の名称：題目
 3. 王朝名：宋、修行の名称：題目
 4. 王朝名：宋、修行の名称：念仏
- 問9 平安時代中期、遣唐使の停止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発達しました。この文化において、かな文字を用いて書かれた長編物語の傑作と、その作者の組み合わせとして適切なものはどれですか。 （2023年 山梨県公立入試 類似）
1. 枕草子 ― 清少納言
 2. 平家物語 ― 信濃前司行長
 3. 土佐日記 ― 紀貫之
 4. 源氏物語 ― 紫式部
- 問10 東北地方の拠点として栄えた平泉の文化や、中尊寺金色堂を建立した奥州藤原氏に関する説明として正しいものはどれですか。 （2023年 神奈川県公立入試 類似）
1. 藤原清衡が、戦乱のない平和な社会を願って黄金をふんだんに使った堂を建立した。
 2. 鎌倉時代に広まった禅宗の教えを基に、質実剛健な文化を東北の地に根付かせた。
 3. 飛鳥地方の建築技術を導入し、法隆寺の建立に協力した勢力の子孫である。
 4. 雪舟の描く水墨画の技法を取り入れた庭園を各地に造営し、武家文化の発展に貢献した。
- 問11 日宋貿易の展開について、当時の航路や考古学的な発見に関する記述として正しいものはどれですか。 （2023年 北海道公立入試 類似）
1. 九州北部の博多や瀬戸内海を経由して兵庫に至る航路が整備され、宋銭は遠く北海道の函館にある遺跡からも出土している。
 2. 遣唐使が廃止された直後のため、公式な航路は存在せず、主に琉球王国が中継地点となって中国の品物を本州へ運んだ。
 3. 日本海側の小樽や新潟を拠点とした北前船の航路が活用され、宋の陶磁器が東北地方の城柵を中心に大量に持ち込まれた。
 4. 種子島に漂着したポルトガル船の航路をたどる形で、堺の商人が直接中国の南部に渡り、鉄砲や火薬を輸入した。
- 問12 10世紀初頭の周防国（現在の山口県）における人口統計によると、働き手となる17歳から65歳の層において、男性66人に対し女性が136人と、自然な状態ではありえないほど男女の数に極端な偏りが見られます。このような戸籍の偽装が行われた理由として、当時の税制度の仕組みから説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 （2024年 山口県公立入試 類似）
1. 防人などの軍役が女性にのみ課せられていたため、男性が女性の身代わりになろうとしたから。
 2. 男性のみに課せられていた調や庸といった重い税負担を逃れるため、戸籍上で性別を偽ったから。
 3. 収穫した稲の一部を納める「租」が男性のみに課せられていたため、その負担を回避しようとしたから。
 4. 女性にのみ公地公民制に基づく口分田が与えられていたため、土地を得ようと性別を偽ったから。
- 問13 東北地方の歴史と地理に関する記述において、北上高地の西側に位置する岩手県平泉には、奥州藤原氏によって建立された中尊寺金色堂があることが記されています。この中尊寺金色堂と共通の仏教信仰に基づき、平安時代に建立された建築物として最も適切なものはどれですか。 （2024年 宮城県公立入試 類似）
1. 京都の宇治に藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂
 2. 運慶・快慶らによって金剛力士像が作られた東大寺南大門
 3. 聖徳太子によって飛鳥時代に建立された法隆寺
 4. 聖武天皇の遺品を納めるために奈良に作られた正倉院

答え合わせ・解説

問1	答え 4 空海が和歌山県の高野山に金剛峯寺を建立し、真言宗の教えを広めた。	平安時代初期の仏教は、奈良時代の政治に関与しすぎた仏教の反省から、山の中に寺を建てて厳しい修行を行う形式がとられました。空海は唐から密教を持ち帰り、高野山を拠点として活動しました。東大寺の大仏建立は奈良時代、法華宗（日蓮宗）は鎌倉時代、一向一揆は室町時代以降の出来事であり、時代ごとの特徴を区別する必要があります。
問2	答え 3 中尊寺金色堂	奥州藤原氏は、清衡・基衡・秀衡の3代にわたって平泉を本拠地とし、東北地方で独自の文化を築きました。中尊寺金色堂は、その繁栄を象徴する建造物で、内外に金箔が貼られ、螺鈿（らでん）などの高度な工芸技術が凝らされた阿彌陀堂です。当時の地方武士が京都の文化を積極的に取り入れ、独自に発展させた様子を現代に伝えています。
問3	答え 2 肥大化した奈良の寺院勢力から政治を切り離し、律令政治を再建しようとした。	平城京では寺院が大きな力を持ち、政治への影響力が強まっていました。桓武天皇はこの状況を打破するために遷都を強行し、あわせて貴族の不正を監視する「勘解由使（かげゆし）」を設置するなど、天皇による統治を強化する改革を行いました。東北地方に対しては、坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命して蝦夷の平定を進めており、経営を断念したわけではありません。
問4	答え 3 中尊寺金色堂	奥州藤原氏は、陸奥国（現在の東北地方）で産出される金や馬を背景に莫大な富を蓄えました。初代の藤原清衡は、度重なる戦乱で亡くなった人々を供養し、仏教による平和な理想郷を築くために平泉を拠点としました。その象徴である中尊寺金色堂は、建物の内外を金箔で覆った豪華な造りであり、当時の東北地方における高度な技術と繁栄を現在に伝えています。
問5	答え 2 唐の国力が衰えて国内が乱れたため派遣の必要性が薄れ、その後、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達した。	9世紀後半の唐は、黄巢の乱などが起こり国力が衰退していました。菅原道真は、命をかけて海を渡る危険に見合うだけの成果が得られなくなったと判断し、遣唐使の中止を建議しました。その結果、中国の影響を消化した上で、日本独自の貴族文化である国風文化（かな文字、寝殿造、十二単など）が大きく発展することとなりました。
問6	答え 2 遣唐使の廃止後、日本人の心情を細やかに表現することが可能になり、女性による物語や和歌などの文学が発展した。	894年の遣唐使廃止を契機に、中国の影響を消化した日本独自の「国風文化」が花開きました。かな文字が普及したことで、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』など、貴族の生活や感情をいきいきと描いた女流文学や和歌が数多く生み出されました。選択肢にある「武士の文化」や「漢詩の重視」は、時代設定や文化の特徴が一致しません。
問7	答え 4 漢字を簡略化した「かな文字」が普及し、女性による日記や物語などの文学作品が多く生まれました。	万葉仮名から発展して「かな文字」が発明されたことで、漢字では表現しきれなかった日本人の繊細な心情を自由に書き表せるようになりました。これにより、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』といった、世界に誇る女流文学が誕生しました。また、絵画の分野でも、日本の風景や風俗を描いた「大和絵」が描かれるようになるなど、日本的な美意識が確立されました。
問8	答え 1 王朝名：唐、修行の名称：念仏	平安時代初期、最澄（天台宗）や空海（真言宗）は遣唐使とともに唐へ渡り、新しい仏教を日本に伝えました。平安時代中期以降、社会の混乱や末法思想の広がりを背景に、阿彌陀仏を信じて「南無阿彌陀仏」と唱える念仏により、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が盛んになりました。題目を唱えるのは鎌倉時代に始まる日蓮宗の修行であり、宋は平安時代後半から鎌倉時代にかけて交流が盛んになった中国の王朝です。
問9	答え 4 源氏物語 — 紫式部	平安時代中期には、日本の独自の風土や感覚を重んじる「国風文化」が花開きました。かな文字の発達により、女性による文学作品が多く生み出され、紫式部が宮廷生活を題材に書いた『源氏物語』はその代表作です。選択肢にある『枕草子』は清少納言による随筆であり、『土佐日記』は紀貫之が女性に仮託して書いた日記、『平家物語』は鎌倉時代に成立した軍記物語です。
問10	答え 1 藤原清衡が、戦乱のない平和な社会を願って黄金をふんだんに使った堂を建立した。	初代の藤原清衡は、凄惨な戦乱を経験したことから、仏教の力で平和な国を造ることを目指しました。中尊寺金色堂は、当時の東北地方で産出された豊富な金を背景に造られた平安時代末期の仏教文化を象徴する建造物です。雪舟は室町時代、飛鳥地方の建築は7世紀、禅宗は鎌倉時代以降の文化であり、時代設定が異なります。
問11	答え 1 九州北部の博多や瀬戸内海を経由して兵庫に至る航路が整備され、宋銭は遠く北海道の函館にある遺跡からも出土している。	日宋貿易では、九州の博多や瀬戸内海を通り、平清盛が整備した兵庫の大輪田泊に至るルートが重要視されました。この貿易の影響力は極めて大きく、宋から輸入された「宋銭」は日本各地に流通しました。その証拠として、北海道函館市の志苔館跡などの遺跡からも大量の中国銭が出土しており、交易網が広範囲に及んでいたことが示されています。
問12	答え 2 男性のみに課せられていた調や庸といった重い税負担を逃れるため、戸籍上で性別を偽ったから。	律令制下の税負担において、収穫した稲を納める「租」は男女共通の負担でしたが、特産物を納める「調」や、労役の代わりに布を納める「庸」は、主に成人男性に対して課せられる非常に重い負担でした。このため、負担を回避しようと、戸籍上で男性を女性として登録する「偽装」が横行しました。このような状況は、政府が戸籍に基づいて「人」に税を課す仕組みを維持することを困難にし、後の時代に「土地」を基準として課税する仕組みへと変化していく要因となりました。
問13	答え 1 京都の宇治に藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂	岩手県平泉の中尊寺金色堂と京都の平等院鳳凰堂は、どちらも平安時代に流行した浄土信仰に基づいて建てられた阿彌陀堂です。当時、中央の貴族文化が奥州藤原氏の手によって東北地方へもたらされ、独自の発展を遂げたことを示す重要な歴史的資料となっています。資料に示された北上高地などの地形的な位置関係とともに、地方における文化の受容を理解することが重要です。